

## 修復記録

著者	河口 公男
雑誌名	国立西洋美術館年報
巻	29-30
ページ	34-35
発行年	1997-01-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1263/00000501/">http://id.nii.ac.jp/1263/00000501/</a>

## 修復記録 Restoration Records

### [1993(平成5)年度修復処置]

シャルル・コッテ

《裸婦》

油彩、紙、カンヴァス  
188×86.5cm  
P.1959-44

保存状態:

1.素地(紙)の裂けと膨らみ

2.絵画層の小欠損

3.古い補彩の変色

4.ニス黄変

5.画面全体の埃の層

修復処理:

1.ニスの部分的除去

2.素地の膨らみの矯正

3.素地の裂けの接着(メチルセルロース1:20)

4.素地の欠損の充填

5.中間ニス塗布(10%ダンマー[テレピンに溶解])

6.欠損箇所の補彩

7.最終ニス塗布(10%ダンマー[ミネラルスピリットに溶解])

8.額装改良

ジャン(ハンス)・アルプ

《森の輪II》

ブロンズ  
86×98×20.5cm  
S.1967-3

保存状態:

作品片面にへこみ、かすり傷、ささくれ等の事故による損傷

修復処理:

1.たたき寄せ

2.ヤスリかけ

3.古色付け(610ハップ1-3%に水で希釈、蜜蠟+リグロイン[1:1]+顔料)

4.表面保護(蜜蠟+リグロイン1:2)

(監督:河口公生 処置:真鍋千絵)

\*前号の記載に遺漏があったため本号に記録する

### [1994(平成6)年度修復処置]

クロード・モネ

《チャーリングクロス橋、ロンドン》

油彩、カンヴァス  
65.1×100cm  
P.1959-154

保存状態:

1.古い補彩の変色

2.ニス黄変

3.画面全体に埃の層

修復処理:

1.表面洗浄(蒸留水)

2.ニスと古い補彩の除去

3.補彩

4.ニス塗布(10%ダンマー[テレピンに溶解])

5.額縁の洗浄

6.額装の改良

カミーユ・ピサロ

《エラニーの秋》

油彩、カンヴァス  
38.1×46.2cm  
P.1959-164

保存状態:

1.絵画層の部分的浮き上がり

2.絵画層上部に茶色い残留物

3.絵画層の欠損

4.古い補彩の変色

5.ニス黄変

6.画面全体に埃の層

修復処理:

1.表面洗浄(蒸留水)

2.ニス除去(茶色い残留物と古い補彩も同時に除去)

3.絵画層の浮き上がりの固定(ゼラチン5%水溶液)

4.欠損の充填と補彩

5.ニス塗布(10%ダンマー[テレピンに溶解])

6.額装の改良

ピエール・ボナール

《働く人々》

油彩、カンヴァス  
130×160cm  
P.1992-1

保存状態:

1.絵画層の欠損

2.古い補彩の除去

3.ニスの黄変

4.画面全体に埃の層

修復処理:

1.表面洗浄(蒸留水)

2.ニス除去

3.古い補彩の除去

4.欠損の充填と補彩

5.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

6.額縁の新調

アンドレ・ボーシャン

《アルクマールの運河、オランダ》

油彩、カンヴァス  
97×190.5cm  
P.1992-2

保存状態:

1.素地の波打ち

2.素地の穴(画面中央)

3.絵画層の欠損

4.ニスの黄変

修復処理:

1.素地の張り直し

2.表面の洗浄(乾式)

3.素地の穴の繕い(Bevaフィルム)

4.木枠の改良(楔の設置)

5.ルース・ライニング

6.ニス除去

7.欠損の充填と補彩

8.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

9.額縁の新調

(監督:河口公生 処置:真鍋千絵)

ヤーコプ・ヨルダース(?)

《ソドムを去るロトとその家族》(ルーベンスの構図にもとづく)

油彩、カンヴァス  
169.5×198.5cm  
P.1978-6

処置期間:

1994年1月~1995年3月

保存状態:

素地

画面は3枚のカンヴァスで構成され、最も大きい上部は198.5cm(横)×125.6で、更に下部は43.5cm(幅)で横に継ぎ足されていて、左辺から125.6cmの所で二分されている。つまりこの作品の全体のカンヴァスは125.6cm幅のカンヴァスを接いで構成されていると言える。しかしそれぞれ部分は過去に接ぎ糸が分離し、三分している。つなぎ目はそれぞれ数ミリ離れ、正確に接がれていない状態で、古い裏打ちのまま別のカンヴァス素地に裏打ちされている。

カンヴァス釘の欠損が各辺に数カ所認められる。

絵画層

画面上部の全長に渡って幅1~4cmで欠損があり、補彩は黄変している。

カンヴァスの継ぎ目の充填、補彩部の浮き上がり。画面全体の補彩部の黄変。

保護膜(ニス層)

かなりの黄変が認められる。

処置概要:

カンヴァス周辺張りしろ部の釘の欠損部は中性紙のワッシャーをつけて、カンヴァスを軽く張り戻して固定

1.ニス除去

イソプロピルアルコールとミネラルスピリットの併用

2.加筆除去

古い充填の除去

3.欠損部充填

4.充填部隔離(シェラック・エタノール)

5.下補彩(水彩絵の具)

6.ニス塗布(ダマー樹脂5%テレピン精油を刷毛で塗布)

7.補彩(油抜きした油絵の具+ダマー樹脂5%テレピン精油)

処置:河口公生, 小西通恵, 横島文夫, 安藤公子, 向田直子

[1995(平成7)年度修復処置]

キース・ヴァン・ドンゲン

《ターバンを巻く女》

油彩, カンヴァス

64.8×54cm

P.1959-191

保存状態:

1.画面に黄色と灰色の染み

2.画面全体に埃の層

修復処理:

1.水彩洗浄(蒸留水)

2.石鹼洗浄(2%石鹼水+イソオクタン[後洗浄])

クロード・モネ

《雪のアルジャントゥーユ》

油彩, カンヴァス

55.5×65cm

P.1959-150

保存状態:

1.古い補彩の変色

2.ニスの変色

3.画面全体に軽微な埃の層

修復処理:

1.ニス除去

2.古い補彩の除去

3.欠損の充填の補彩

4.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

エルネスト=ジョゼフ・ローラン

《テラスの二人の婦人》

油彩, カンヴァス

117.5×101.5cm

P.1959-114

保存状態:

1.素地に3つの穴

2.絵画層の欠損

3.画面全体に埃の層

修復処理:

1.素地の穴の繕い(Bevaフィルム, PVAt)

2.表面洗浄(0.5-2%石鹼水+イソオクタン[後洗浄])

3.欠損の充填と補彩

4.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

モーリス・ドニ

《ラ・クラルテの聖堂》

油彩, カルトン

50×37cm

P.1959-70

保存状態:

1.絵画層凹部に汚れの集積

2.画面全体に埃の層

修復処理:

1.表面洗浄(0.5%石鹼水+イソオクタン[後洗浄])

2.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

3.額縁の新調

アンリ=ジャン=ギョーム・マルタン

《娘》

油彩, カルトン

60.7×49.7cm

P.1959-132

保存状態:

1.素地の縁のめくれ

2.絵画層の欠損

3.絵画層凹部に汚れ集積

4.画面全体に埃の層

修復処理:

1.素地の縁の固定

2.表面洗浄(0.2%石鹼水+イソオクタン[後洗浄])

3.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

4.額縁の新調

エドモン=フランソワ・アマン=ジャン

《二人の婦人》

油彩, カンヴァス

116×93cm

P.1959-1

保存状態:

1.絵画層凹部に汚れの集積

2.画面全体に埃の層

修復処理:

1.表面洗浄(0.1%石鹼水+イソオクタン[後洗浄])

2.ニス塗布(5%ダンマー[テレピンに溶解])

3.額装の改良

(監督:田辺幹之助 処置:真鍋千絵)

(河口公生)